

避難所での対策とお願い

〈避難所・避難スペースの確保〉

- ・避難所の密集状態を緩和するため、黒磯・西那須野・塩原の各地区に、それぞれ2カ所の自主避難所を開設します。
- ・避難所内ではロープで区画を設け、2メートルの間隔を保ってスペースを確保します。

〈避難する前に……〉

- ・**あらかじめ検温をお願いします。37.5℃以上の発熱や咳などの症状がある人は、原則、避難所での受け入れができません。**
- ・症状がある人は、市が指定する施設の駐車場に自家用車で移動し、車の中で待機してください。

※車中待機場所は、黒磯・西那須野・塩原の各地区にそれぞれ1カ所開設します。

- ・避難所で必要なものはできるだけ持参しましょう。

〈避難所で過ごすときは……〉

- ・避難所入口で検温を行います。
- ・新型コロナウイルスへの感染が確認されている人の濃厚接触者など、感染の疑いがある場合は、症状がなくても必ず避難所の職員に申し出てください。
- ・水が使える場合は、こまめに手を洗いましょう。手を拭くときは個人のタオル・ハンカチを使ってください。
- ・避難所の備蓄には限りがあります。マスクや消毒液などは、持参してください。
- ・避難所の運営には、多数の人が触れる場所の消毒作業など、多くの人手が必要です。余裕のある人は、協力をお願いします。

自主避難所とは？

避難勧告などの発令前に市が提供(開設)する、市民の自主的な避難場所のことです。詳しい場所や日時は、市のホームページやみるメールなどでお知らせします。



みるメールの登録はこちら



非常持ち出し品・備蓄品を準備しましょう

避難所に持っていくもの

- | | |
|---------------------|---------------|
| ★マスク | ・衣類 |
| ★アルコール消毒液 | ・懐中電灯 |
| ★体温計 | ・軍手・スリッパ |
| ★ウェットティッシュ | ・ヘルメット |
| ★使い捨てビニール手袋 | ・ビニール袋(ごみ袋) |
| ★石鹼(ハンドソープ) | ・普段服用している薬 |
| ★ハンカチ | ・毛布 |
| ★ペーパータオル | ・着替え(洋服、下着) |
| ・貴重品(預金通帳、印鑑、保険証など) | ・最低1日分の飲み物と食料 |
| ・下着 | ・携帯ラジオ |
| ・洗面用具 | ・その他自身で必要なもの |

※★マークは感染症対策に役立つものです。

備蓄しておくといもの

- ・飲料水(目安:1人9リットル)
- ・非常食(目安:3日分)
- ・トイレトペーパー
- ・マッチ
- ・ろうそく
- ・カセットコンロ



避難所でも新型コロナウイルス感染症に注意！ 災害時の感染症対策を知っておこう！

問い合わせ
 総務課
 ☎0287(62)7150

新型コロナウイルス感染症がまだ収まらない中、災害発生時の避難所においても、感染症対策が必要です。しかし、暴風雨により十分な換気ができなかつたり、断水で手洗いやトイレの利用が制限されたりすることで、避難所の感染リスクが高まる可能性があります。自分や家族の感染リスクを少しでも軽減するため、協力をお願いします。

在宅避難・知人の家などへの避難のお願い



東日本大震災の避難所の様子。避難所は「3密」になる可能性も

避難所では限られたスペースや物資で共同生活を送るため、感染リスクが高まったり、慣れない環境で体調を崩したりすることがあります。

これまでは、災害時はできるだけ避難するようお願いしていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが心配される現在、**自宅での安全が確保できる場合は、感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はありません。**住み慣れた自宅で生活を続ける「在宅避難」をお願いします。

また、避難所が密集・密接状態になることを防ぐためにも、安全な親戚・知人の家などへの避難も検討してください。

「避難所に行くこと」だけが
避難じゃないモ～

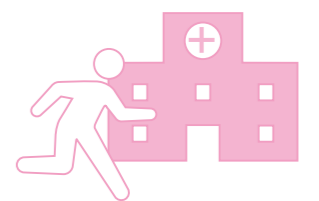


避難場所を考えておきましょう

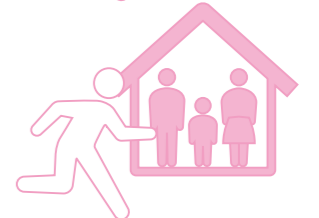
- 建物が被害を受け、自宅にいる事が危険な場合
- 自宅に土砂崩れや洪水などの危険が迫っている場合



避難所に避難

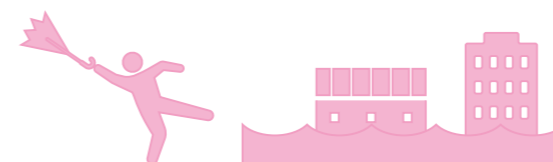


親戚や知人の家に避難



迷わず、早めに
安全な場所へ！

- 激しい降雨や冠水で、避難所などに移動するのが危険な場合



自宅の2階など、高いところに避難(垂直避難)



- 自宅の周りに河川・用水路・急な斜面・崖などの災害リスクがない場合
- 自宅にいても安全が確保できる場合

できるだけ「在宅避難」を検討
 ※普段から、食料・水などの備蓄や家の中の安全対策をしておきましょう。